

令和 6 年度

大阪大学

一般選抜（前期日程）

解答例又は出題の意図

国語（HFJE）

令和6年度一般選抜（前期日程）

国語（人間科学部・外国語学部・法学部・経済学部）

出題の意図

I

出題文は、馬華台湾文学の作家の一人である黄錦樹の短編の日本語訳を集めた、『夢と豚と黎明——黄錦樹作品集』（二〇一一年、人文書院刊）所収の松浦恆雄の解説「黄錦樹の華語コンプレックス」の一部である。

本文は、受験生にとってあまり馴染みのない東南アジアの華語系文学を題材とした文章で、ところどころに文学的でやや難解な表現も登場するが、文章自体は論理的でわかりやすい。文章全体の論旨を丁寧に追うことができるかを問う。

問一は、本文中に出てくる「華語」「北京語」「方言」「白話文」などの用語の正確な理解を問う。

問二は、本文において説明されている「白話文」と「文言文」の違いを的確に理解し、「白話文の優位性が発揮される場面」を文学史的な知識などを動員しながら選択肢の中から選ぶことができるかを問う。

問三は、問四に解答する準備として、本文の筆者が述べるマレーシア華人の言語状況と華人のアイデンティティに関して正確に理解されているかを問う。

問四は、本文の趣旨を、洗練さを欠いた華語を用いて文学的なテキストを生み出さざるを得ないという、黄錦樹のコンプレックスに関連させながら正確に理解しているかを問う。

II

出題文は、森川輝一「誕生を祝うために」（二〇二一年、「あんじゃり」WEB版掲載）の一部である。人間の誕生という現象との関係から政治という営みや全体主義を位置付けた上で、現在の少子化対策についても言及しつつ、誕生に対してわたしたちが取りうる態度を論じたものである。

抽象的な議論を現実の出来事との関連で記述した文章を正しく読解し、その内容について正確に過不足なく記述できるかを問うている。

問一は、文中に用いられている漢字を正確に書くことができているかを問うものである。

問二では、出生の唯一無二な性格が個人の自由を、また既存の社会に生まれ落ちるという性格が共同体のルールへの適応を含意する点が説明できている必要がある。

問三は、出生に含まれる生物としての性格を理解しているか、また、かかる性格と全体主義の政策との適合性が理解できているかを問う問題である。

問四では、ユニークな個人の自由が意味するものを正確に理解した上で、個人の自由が社会（世界）との関係でいかなる政治に結実するかが問われている。

問五については、現代の少子化対策に対する出題文の主張を、出題文で示された出生をめぐる諸観点との関係から読解できていることが重要である。

Ⅲ

出題文は、鎌倉時代に成立した説話集からの出題である。基本的な単語の意味と、敬語や受身を表す助動詞を理解した上で全体の内容を把握する力を求める問題である。

問一は、「まもる」「おどろく」などの基本的な語彙、及び助動詞や反語を正確に理解できているか、また、受身や尊敬の助動詞によって主語を判断するなど、基本的な国語力を問う。

問二は、問題文前半の内容を正確に読み取ることができているかを問うている。

問三では、「おもひいづや」の内容が和歌の次句以降に述べられており、倒置になっていることを把握してほしい。「なき名」の正確な意味が分からなくとも「名」が評判、噂の意味を持つと理解していれば、問題文前半の内容から推測できる。

問四については、小大進が歌を詠んで、北野天神の心を動かしたことを理解できれば、古今集仮名序の「目に見えぬ鬼神をもあはれと思はせ」に対応することがわかる。これを踏まえて語り手は、小大進の歌が鬼神である北野天神の心を動かした話だと批評したのである。問題文全体の内容を把握して欲しいと考えての出題である。